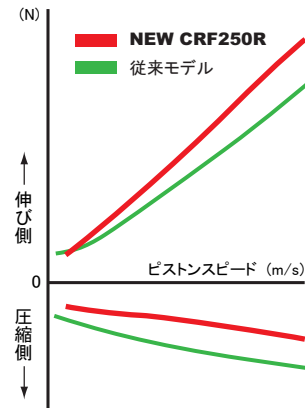


新設計の前・後サスペンションは、ストローク初期からのコントロール性を高めることで、細かなギャップでの追従性を向上させ、走破性を大幅に高めました。

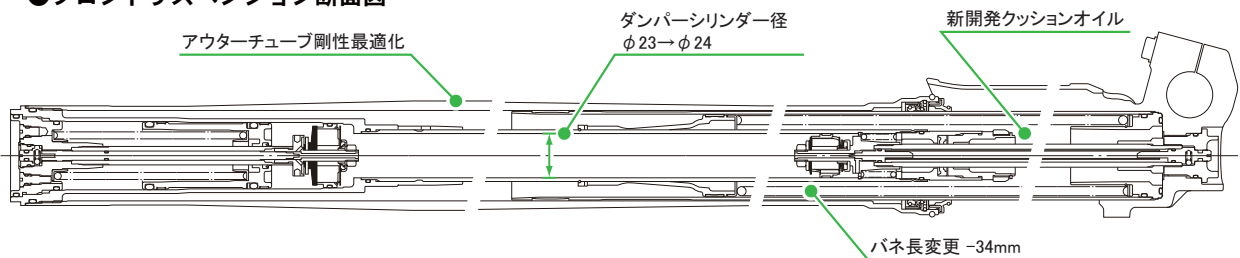
### フロントサスペンション

フロントサスペンションは、従来からの分離加圧式を踏襲。インナーパイプ径を2009年型モデルのφ47からφ48mmへと大径化するとともに、ダンパーシリンダー径をφ23からφ24mmへ変更。加えて、クッションオイルを新開発し減衰力特性を見直すことで、ストロークのイニシャル領域で、滑らかでコシのある減衰特性を獲得しました。またアウターチューブの形状の最適化に併せて、バネの長さを従来よりも34mm短くし質量を低減する事で、乗り心地性能の向上と軽快な操舵特性を実現しました。

#### ●フロントサスペンション減衰力特性



#### ●フロントサスペンション断面図

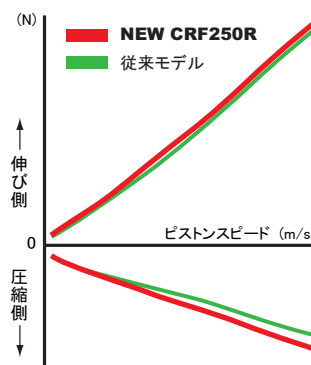


### リアサスペンション

プロリンク式リアサスペンションは分離加圧式を踏襲。セッティングの変更を行い、コントロール性を向上させています。また、サブタンクの形状を大幅に見直しダンパーケースと一体化することで、ライダーの足とサブタンクが干渉しないように配慮しています。

同時に、100g軽量化するとともに重心位置がより前方に、より低くなるようにリアクッションを配置することによって、車両の運動性能向上に大きく貢献しています。

#### ●リアサスペンション減衰力特性図



#### ●リアサスペンション断面図

